INTERNATIONAL URBAN AND REGIONAL COOPERATION

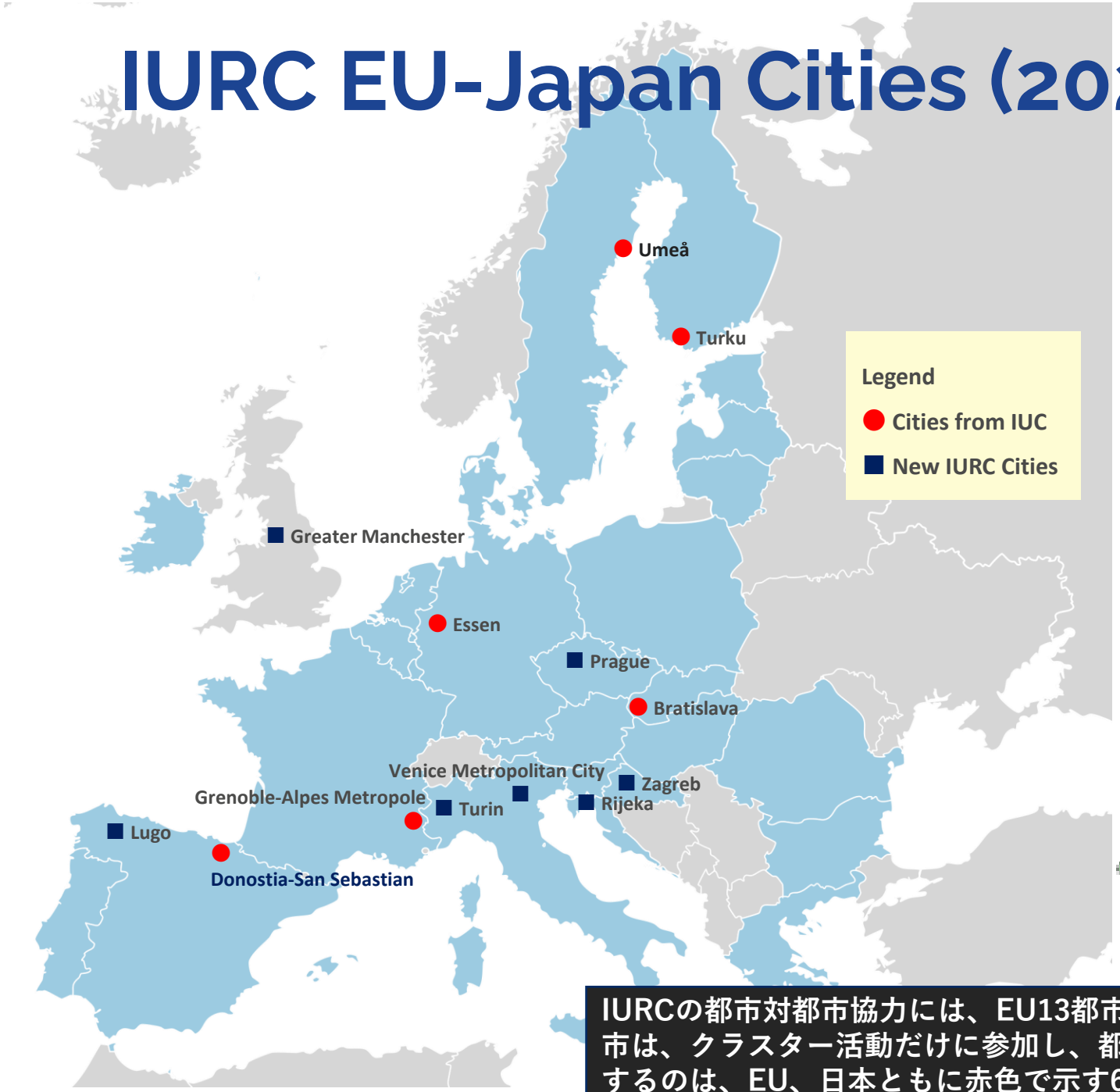
A European Union Programme

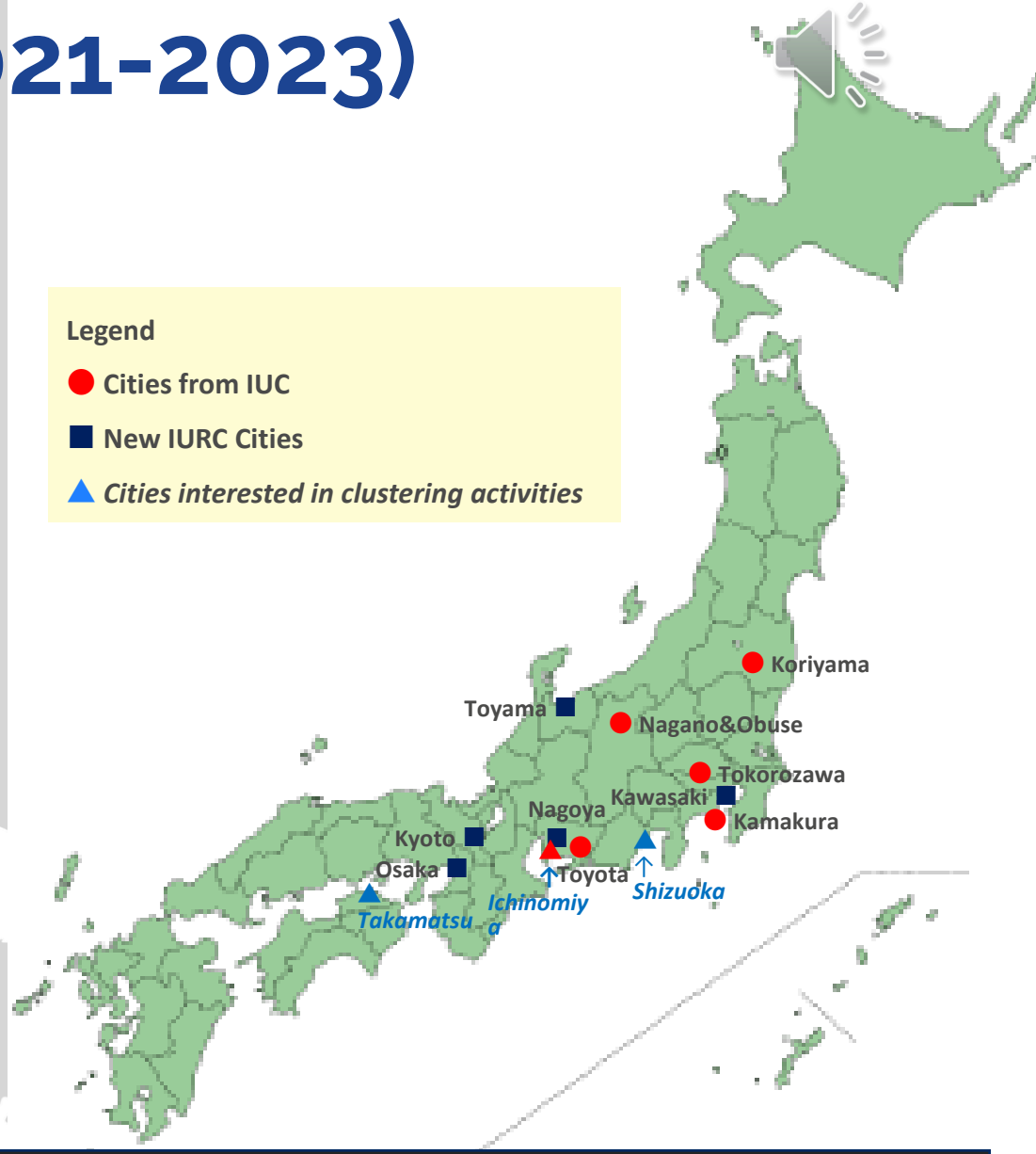
EU-Japan City-to-City Cooperation in Phase I (2017-2020)

Presenter: Hidefumi Imura

Date: 16/9/2021

IURC EU-Japan Cities (2021-2023)





IURCの都市対都市協力には、EU13都市、日本10都市が参加します。このほか、日本の幾つかの都市は、クラスター活動だけに参加し、都市対都市協力には参加しません。IURC第1期から継続参加するのは、EU、日本ともに赤色で示す6都市です。

IUC 2017-2020, Cities and Topics

	Japanese City	EU City	Country	Topics for knowledge sharing and cooperation
1st batch 2017-	Yokohama	Frankfurt	Germany	Carbon neutrality, renewable energy promotion strategies by networking with other cities, changing citizens' behaviors
	Koriyama	***Essen***	Germany	Transformation to a city of culture and industrial innovation, exchange of young people
	Hirosaki	***Donostia-San Sebastian***	Spain	Buildings and site regeneration, refurbishing of old, historical buildings and energy efficiency
	Ichinomiya	Ioannina	Greece	Urban planning and mobility for waterfront development, access to the waterside
	Ikoma	Ancona	Italy	Sustainable tourism utilizing unique local resources, "slow tourism" to create "places of experience"
2nd batch 2018-	***Tokorozawa***	***Bratislava***	Slovakia	Green urban infrastructure, increasing greenery in cities, climate mitigation, flood control, nature-based solution
	Toyota	***Grenoble-Alpes Metropole***	France	Energy transition and industrial innovation, deployment of hydrogen, SDGs promotion, smart mobility
	Kamakura	***Umea***	Sweden	Participatory community planning methodology and practice, "Kamacon" and "Umecon", sustainable restaurant network
3rd batch 2019-	Kobe	Marseille	France	Raising citizens' awareness about port functions and maritime industries, vitalization of city economy by tourism such as cruising
	Nagano and Obuse	***Turku***	Finland	Urban-rural circular economy, carbon neutrality, use of biomass for energy, climate adaptation

IURC第1期では、EU10都市と日本10都市で10のペアが組まれました。この表は、各ペアの協力テーマを示しています。EUでは、サンセバスチャン市は継続参加しますが、相手となる日本都市は変わります。また、日本では、一宮市はクラスター活動だけに参加します。この結果、第二期にペアとして残るのは5ペアです。次に、これら5ペアが行った活動を簡単に紹介します。

Essen - Koriyama

ドイツのエッセン市と郡山市は、エッセン市が石炭産業の都市からヨーロッパの文化都市へと変貌を遂げた経験と、郡山市が2011年の東日本大震災の影響から立ち直るために、医療機器関連産業などの産業革新や再生可能エネルギーの推進に取り組んできた経験を学び合いました。今後は、若者の交流を促進し、互いの経験や知識を若い世代に伝えていく予定です。

Bratislava - Tokorozawa

スロバキアのブラティスラバと所沢の共通の関心は、持続可能な都市開発のための「グリーンインフラ」にです。両者は、都市生態学の視点を都市計画に取り入れ、都市部における気候回復力の強化と気候変動の影響の緩和に焦点を当てた“Win-Win”の解決策の経験について交流しています。グリーンインフラ管理の方法、樹木や都市内の森が提供するエコシステムサービスの向上、洪水対策のためのハザードマップの利用、樹木のインベントリーの開発などについて学び合っています。

Grenoble-Alpes Metropole - Toyota

フランスのグルノーブル・アルプ・メトロポール(GAM)とトヨタは、エネルギー転換、SDGsの推進、産業革新・職業訓練で協力しています。両者は、持続可能な都市を実現するために、イノベーションと新ビジネスの創出によるスマートシティ・ソリューションの開発に関心を持っています。両者は、水素ラボのネットワーク化、水素自動車の導入、水素やクリーンエネルギー車を使った街づくりなど、再生可能エネルギーに関する経験を交換しています。GAMは、豊田市の市民参加によるSDG推進手法に興味を持っています。

Umea - Kamakura

スウェーデンのウメアと鎌倉は、鎌倉で実践されている市民参加型コミュニティ・プランづくり「カマコン」や、ウメアでこれを応用した「ウメコン」など、市民やステークホルダーの参加を高める参加型のまちづくり手法の開発で協力しました。また、鎌倉のファブラボのネットワーク化、食物チョイス、ウメオのサステナブル・レストラン・ネットワークなど、循環型経済を推進するための経験を学び合いました。

Turku – Nagano & Obuse

フィンランドのトゥルクと長野市・小布施町は、都市と農村の循環型経済を推進することで気候ニュートラルを実現することに関心を持っています。どちらも発電にバイオマスを利用することを推進しています。トゥルクは2029年までにカーボンニュートラルを達成することを目指していますが、長野市・小布施町は2019年に河川による大洪水に見舞われたこともあり、気候変動適応策への関心が高まっています。両者は協力して、気候変動対策のための市民ビデオコンテストに実施しました。

IUC Meeting in EUDEL Tokyo, May 2019

都市の視察旅行の時期は出来るだけ調整し、毎年、春には東京で、秋にはブリュッセルで、全ての都市が一堂に会う機会を持つようにしました。